教科目名　建築学概論　(Introduction to Architecture)

学科名・学年　：　都市システム工学科　4 年
単 位 数 な ど　：　選択　1 単位　（前期 1 コマ，学習保証時間 22.5 時間）
担 当 教 員　：　後藤勝雄

授業の概要

建築のデザインと安全性を中心に建築学の概要を学ぶとともに，建築空間の認識を目的に演習を通して建築設計（二次元）や建築模型（三次元）で表現する方法を体験する．また，プロジェクター（画像）で建築デザインの紹介を行い建築空間の認識を理解する．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(B2)**

(1) 建築空間の構成とその安全性について理解する．（課題）
(2) 建築の標準的な図面表現の方法を理解する．(課題)
(3) 設計演習や建築模型の製作を通して，建築の仕組みや建築学の体系を理解する．(課題)
(4) 建築用語と各部位について理解する．（定期試験と課題）

回	授　業　項　目	内　容	理解度の自己点検
1	1,建築学とは，建築学の大系	○　デザイン性と安全性を持つ建築の概略を理解する．	【理解の度合い】
		○　ゼネコンの仕組みと建築設計の本質について理解する．	
2	2,演習Ⅰ（建築空間と構造）	○　紙を用いた立体構成（折り紙建築の製作.）	
3	3,演習Ⅱ（建築空間とデザイン）		
4		○　日本の住宅様式，インテリア，ダイニングキッチン（住宅図面を読む）（ゾーンと動線の重要性を理解する.）	
5	4,住宅Ⅰ（住宅空間の構成）ゾーニングと動線		
		○　高齢者と住まい，高齢化時代の安全設備	
6	5,住宅Ⅱ（高齢者とバリアフリー）		
		○　住宅を平面図で作成（建築の図面表現方法を実践し理解する.）	
7	6,演習Ⅲ（二世帯住宅の設計）		
8	7,演習課題Ⅲの解説	○　コンセプトと図面表現について講評をおこなう．	【理解の度合い】
9	8,日本の建築家と作品紹介	○　大分の建築作品	
10	9,演習Ⅳ(住宅の模型)	○　演習Ⅲで作成した二世帯住宅を立体的に模型に仕上げる．（平面図，立面図，断面図の図面の整合性を理解する.）	
11			
12			
13			
14	前期期末試験		【試験の点数】　　点
	前期期末試験の解答と解説	○わからなかった部分を理解する．	

履修上の注意	講義：毎回資料を配布します，試験は資料からの出題となりますので，必ずファイリングしておくこと． 演習：欠席等で，定められた時間内に完成できなかった場合は，宿題となることがある．	【総合達成度】
教　科　書	なし	
参 考 図 書	なし	
関 連 科 目	公園緑地計画，構造力学Ⅰ，構造力学Ⅱ	
総 合 評 価	達成目標の(1)～(4)について定期試験と課題で評価する．課題（70%）と試験（30%）で 100%とし，授業態度・出席状況を考慮して，20%を上限に減点しこれを総合評価とする．総合評価が 60 点以上を合格とする．	【総合評価】　　点